

論文審査結果の要旨

論文提出者	西原 哲世
論文審査委員	主査 塩岡 隆 
	副査 坂上竜資 
	副査 筒井昭仁 
論文題目	Effect of <i>Lactobacillus salivarius</i> -containing tablets on caries risk factors: a randomized open-label clinical trial
(論文審査結果の要旨)	
<p>口腔内環境の正常化を目的とした乳酸菌配合食品が注目されているが、乳酸菌には殺菌作用がある一方でエナメル質を脱灰しう蝕進行を促進する可能性もある。本論文研究では、<i>Lactobacillus salivarius</i> WB21 株および TI2711 株、<i>Streptococcus Mutans</i> の產生するグルコシルトランスフェラーゼに対する抗体（オーバルゲン DC®）、キシリトールを配合する 4 種類のタブレットを 64 人の被験者に割り付け、タブレット摂取前後の唾液中の <i>S. mutans</i> および乳酸菌レベル、刺激唾液量、唾液 pH、唾液緩衝能）の変化を評価するとともに、WB21 配合タブレットを 8 人の被験者に 2 週間投与し <i>S. mutans</i> 菌数の変動を評価した。<i>L. salivarius</i> WB21、TI2711、オーバルゲン DC®群で <i>S. mutans</i> の減少傾向がみられ、WB21、TI2711 群で乳酸菌レベルが増加した。刺激唾液量、唾液 pH の群間差は認めらなかつたが、唾液緩衝能は、TI2711、オーバルゲン DC®群で顕著に増加した。また、WB21 の継続摂取により <i>S. mutans</i> は有意に減少した。乳酸菌配合タブレット摂取がう蝕リスク因子に対して抵抗性を示した本臨床研究の新しい知見は、乳酸菌配合食品の口腔環境に及ぼす恩恵を示唆する発見であり、社会的にも有益であることから、本論文は学位論文としての価値があると認める。論文提出者の西原氏は、審査会で研究に関する内容の説明を適切に行った後、審査委員の質問に対して的確に回答しており、予備審査を合格と判定した。</p>	